

川崎医科大学附属病院 がんセンターNEWS

Vol.13 2013 新年号



富士山 撮影:春間 賢

- 新年のご挨拶 ～がんセンターの活動について～
- 第8回新見医師会・高梁医師会がん診療地域連携懇談会報告
- 第25回日本バイオセラピー学会を主催して

インフォメーション

- 第12回市民公開講座
- オープンカンファレンス



新年のご挨拶 ～がんセンターの活動について～

がんセンター長 園尾 博司

新年おめでとうございます。本年も何卒よろしくお願いたします。

癌対策基本法のもと当院ががん診療連携拠点病院になり5年が経過しました。その間に院内に組織されたがんセンターの活動も定着して参りました。その活動は、①講演会による医師、医療者、市民を対象とした啓発活動（Cancer Seminar, Oncology Seminar, 市民公開講座、それぞれ年2回）、②院内の Case Conference（毎月1回）による医師、看護師、病理部、薬剤部などとの連携、③各診療科におけるがん化学療法プロトコルの審査・登録・管理、④地域医師会（新見市および高梁市）とのがん診療地域連携懇談会（それぞれ年2回）、⑤緩和医療研修会（年1回）による県内医師のがん緩和医療の推進、⑥五大がんの県内共通クリニカルパスによるがん治療の標準化と連携の推進、⑦医師、看護師、薬剤師の海外研修（年1回、米国モフィット癌センターなど）などです。これらの活動により医療者間の横の繋がりがお互いの顔のみえる関係が生まれ、円滑なチーム医療の実践や地域連携が可能となってきました。また、上記の講演会、懇談会や研修会による啓発活動により知識の共有、がん医療の質の向上や均てん化も着実に進んできました。

本年もこれらの活動を続け、がん診療連携拠点病院の役割を果たせるように努力したいと思います。皆様のご指導、ご協力をお願いいたします。

第8回新見医師会・高梁医師会がん診療地域連携懇談会報告

平成24年11月21日（水）新見、翌日の22日（木）高梁にお邪魔し、それぞれ第8回目となる「がん診療地域連携懇談会」を開催させていただきました。今回は岡山県がん医療連携推進事業との共催のため、医師会だけでなく備北保健所からもご協力をいただき、より多くの医療従事者の皆様にご参加いただきました。

今回は「切れ目のないがん医療・看護・介護支援を目指して」をテーマにし、ミニシンポジウム形式で様々な職種立場からがん患者さんの医療・看護・介護をとおして感じていること（現状と課題）をご発表いただき、それを踏まえて今後地域でどのようなことができるか、どういったことを目指していくかの意見交換を行いました。職種は違っても同じような悩みを抱えていること、情報共有の大切さ、それには顔の見える関係作りが大切であるというご意見が多く寄せられました。このような研修会を継続的に開催していくことも非常に重要であると感じる方も多かったようです。

当日シンポジストとしてご発表いただいた先生方も大変お忙しいなかご協力いただき、誠にありがとうございました。今後もこの懇談会を継続させていただきたいと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

<新見シンポジスト>

- ・渡辺病院 理事長 遠藤彰先生
- ・哲西町診療所 所長 鈴木忠広先生
- ・新見中央病院 地域医療連携室 退院調整看護師 池田紋江様
- ・阿新虹の訪問看護ステーション 管理者 須藤美帆様
- ・NPO 法人岡山県介護支援専門員連絡協議会 新見支部長（おおさ苑居宅介護支援事業所） 近藤典子様
- ・川崎医科大学附属病院 臨床腫瘍科 弘中克治医長

<高梁シンポジスト>

- ・成羽病院 副院長 鶴見尚和先生
- ・川上診療所 所長 菅原英次先生
- ・高梁中央病院 地域連携室 藤坂美香様
- ・高梁中央訪問看護ステーション 管理者 葛原睦子様
- ・居宅介護支援事業所ハイビス 清迫栄子様
- ・川崎医科大学附属病院 臨床腫瘍科 弘中克治医長



第25回日本バイオセラピー学会を主催して

第25回日本バイオセラピー学会学術集会総会会長 臨床腫瘍科 山口 佳之

2012年12月13、14日の2日間、倉敷芸文館において第25回日本バイオセラピー学会学術集会総会を開催させていただきました。バイオセラピーとは、生体に本来備わっている免疫能を利用してがんなどの難治疾患を治療する試みを言います。四半世紀の研究歴に紆余曲折を経たバイオセラピーですが、昨年、米国において前立腺がんワクチンと、悪性黒色腫に対する免疫制御薬抗CTLA-4抗体、このふたつが承認されたことが契機となり、バイオセラピーは現在、世界的に注目されている治療分野です。

1980年代のサイトカインの発見とクローニング、1991年のがん抗原MAGE遺伝子の同定、2000年代の抗体医薬の実現という大イベントに続き、2011年度はバイオセラピー史上、上述した記念すべき一年となり、それに続き、2012年もATLに対する日本初の抗体治療薬抗CCR4抗体の承認や、新規免疫制御薬抗PD-1抗体の抗腫瘍効果の報告など、世界をあっと言わせるエビデンスラッシュを迎えています。このように、バイオセラピーの歴史は、「サイトカイン維新」「IMAGE維新」「抗体維新」を経て、まさに「免疫維新」と言える時代を迎え、手術、抗がん剤、放射線治療に加え、第4のがん治療としてまさに今、バイオセラピーは間違いなく市民権を得るに至りました。今後、「免疫八策」を駆使したがん治療の構築が求められて行くでしょう。

この時宜を捉え、本学術集会総会のテーマを「発進！バイオセラピーーがん治療のパラダイム・シフトー」とさせていただきます。特別講演として、京都大学生命科学研究科 稲葉カヨ先生からは昨年のノーベル賞のテーマともなりました樹状細胞について、東京大学分子予防医学 松島綱治先生からは抗CCR4抗体治療について、基調講演としてシンガポール大学外科 河野浩二先生よりがんワクチンについてご講演いただきました。ランチョンセミナーでは、理化学研究所免疫・アレルギー科学総合研究センター長 谷口 克先生よりNKT細胞とiPS細胞について、国立がん研究センター中央病院乳腺科・腫瘍内科 田村研二先生より乳癌に対する抗体治療について、イブニングセミナーでは、慶應義塾大学遺伝子制御 佐谷秀行先生よりがん幹細胞についてご講演いただきました。また、モーニングセミナーでは、川崎医科大学の免疫研究を代表して生化学教室 山内 明先生より新規細胞動態解析の講演を、呼吸器外科 沖田理貴先生よりHERシグナルを介した宿主免疫逃避機構の講演をいただきました。企画としてはがんワクチン、細胞治療、免疫制御薬をはじめとする注目すべきバイオセラピーを中心に、特別企画、シンポジウム、ワークショップ、要旨演題をはじめ、最後まで熱心に討論していただきました。いずれも大変好評で、理事の先生方をはじめ多数の参加会員の皆さまから称賛をいただきました。

一方で、会の準備・運営には反省を残しました。初日午前抄録集が売り切れ、初日夕方の全員懇親会では想定外の2倍に近づく参加者で会場は身動きがとれない状況となりました。この場で深くお詫びいたします。しかしながら、司会の皆さまには企画の前夜で「発進！バイオセラピー」と発声し盛り上げていただきましたし、アトラクションでは川崎福祉大学のチアリーディング部スマイルズのみなさんによる「発進！バイオセラピー」のパフォーマンスで会最高潮となりました。また、友人であり共同研究者である沖縄県豊見城中央病院城間寛副院長からは銘酒「泡盛」のご寄付を頂戴し、華を添えていただきました。皆さまのお陰をもちまして、演題数は100題を超え、参加者も400名を超えるという、例年を上回る、熱気あふれる会としていただきましたことを、この場で心より御礼申し上げます。

来年もバイオセラピーの隆盛は続きます。次回盛岡でのさらなる高揚を折念して報告とさせていただきます。いざ、発進！バイオセラピー。



がんセンター活動予定

第12回市民公開講座

日時:平成25年3月9日(土) 13:30~16:00

場所:川崎医科大学現代医学教育博物館 2階大講堂

テーマ 日常生活とがんの予防

講演 ①「日常生活と乳がん予防」

椎木 滋雄 (乳腺甲状腺外科医長)

②「日常生活と大腸がん予防」

藤田 穰 (食道・胃腸内科医長)

③「タバコの害と禁煙のすすめ」

加藤 茂樹 (呼吸器内科医長)

④「日常生活と肝臓がん予防」

仁科 惣治 (肝・胆・膵内科医)

● オープンカンファレンスのご案内

下記のカンファレンスを行っています。

参加ご希望の際は地域医療連携室までご連絡をお願いします。

呼吸器カンファレンス

呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科(診断・核医学)・病理科病理部合同で「呼吸器X線カンファレンス」を行っています。院外の先生方もどうぞご参加ください。気になる症例がありましたらレントゲンをお持ちいただいても結構です。

日時 第2・4月曜日 18:00 ~ 19:00

場所 9階中病棟 第2カンファレンス室

緩和ケアカンファレンス

毎週木曜日13:15から14階西カンファレンス室で緩和ケアチームのカンファレンスを行っています。

Case Conference

各診療科から症例を提示し、その診断と治療およびケアについて複数の診療科で、また医師・看護師のみならず広くコメディカルも参加して横断的かつ総合的に討議し勉強する症例検討会です。

日時 第2木曜日 18:00~19:00

場所 川崎医科大学 校舎棟M703号教室

大腸癌化学療法カンファレンス

外科・内科・臨床腫瘍科・放射線科の医師・看護師・薬剤師など多職種からなる医療チームで、外来大腸癌性腫瘍に対する治療方針(化学・放射線療法プロトコール・手術介入など)の決定についてのカンファレンスを行います。院外の先生方や医療スタッフの皆さまもどうぞご参加ください。

日時 第1・3金曜日 17:30 ~ 19:00

場所 本館10階 過院治療センター

Nutrition Support Team (NST) カンファレンス

毎週火曜日14:00から14階南カンファレンス室でNSTミーティングと勉強会を約1時間行っています。どなたでも参加可能です。



川崎医科大学附属病院

〒701-0192 岡山県倉敷市松島577

TEL 086-462-1111(代表)

<http://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/>

紹介患者さま受診予約窓口

■地域医療連携室

TEL(086)462-1111(内線22611・22613)

FAX(086)464-1166

E-mail renkei@med.kawasaki-m.ac.jp